

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320249	X-21-B-2-320249	1	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	2年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
韓国語 3a	吉澤 文寿			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	2年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

#### 授業目的

韓国語 2 までの学習に引き続き、日本で出版されたテキストを用いて学習を進める。日本語と対応させて理解することにより、より正確な言語運用能力の習得を目指す。

#### 各回毎の授業内容

<b>第 1 回</b> 【授】ガイダンスおよび韓国語 2 の復習 【前・後】予習・復習各 1 時間 <b>第 2 回</b> 【授】第 10 課 現在・過去連体形など (その 1) 【前・後】母音衝突の回避と縮約形、補助語幹-烈- (予習・復習 1 時間) <b>第 3 回</b> 【授】第 10 課 現在・過去連体形など (その 2) 【前・後】現在連体形 (予習・復習 1 時間) <b>第 4 回</b> 【授】第 10 課 現在・過去連体形など (その 3) 【前・後】過去連体形、回想連体形 (予習・復習 1 時間) <b>第 5 回</b> 【授】第 11 課 未来連体形など (その 1) 【前・後】形容詞の過去連体形 (予習・復習 1 時間) <b>第 6 回</b> 【授】第 11 課 未来連体形など (その 2) 【前・後】特別な敬語 (予習・復習 1 時間) <b>第 7 回</b> 【授】第 11 課 未来連体形など (その 3) 【前・後】未来を表す表現 (予習・復習 1 時間) <b>第 8 回</b> 【授】前半のまとめ 【前・後】予習・復習 1 時間	<b>第 9 回</b> 【授】第 12 課 否定文、禁止形 (その 1) 【前・後】안を用いた否定文 (予習・復習 1 時間) <b>第 10 回</b> 【授】第 12 課 否定文、禁止形 (その 2) 【前・後】못を用いた否定文 (予習・復習 1 時間) <b>第 11 回</b> 【授】第 12 課 否定文、禁止形 (その 3) 【前・後】動詞말다を用いた禁止命令文など (予習・復習 1 時間) <b>第 12 回</b> 【授】第 13 課 漢語数詞、固有数詞 (その 1) 【前・後】漢語数詞 (予習・復習 1 時間) <b>第 13 回</b> 【授】第 13 課 漢語数詞、固有数詞 (その 2) 【前・後】固有数詞 (予習・復習 1 時間) <b>第 14 回</b> 【授】第 13 課 漢語数詞、固有数詞 (その 3) 【前・後】順序数詞 (予習・復習 1 時間) <b>第 15 回</b> 【授】まとめ (確認テスト) 【前・後】予習・復習各 1 時間 <b>第 16 回</b> 【授】予備日 【前・後】(予習・復習各 1 時間)
---	--

#### 成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合 (%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							80
宿題・授業外レポート							10
授業態度・授業への参加							10
成果発表 (口頭・実技)							
演習							
その他							

出席が 2/3 以上の者に確認テストの受験資格を与える。成績は確認テスト、その他の授業中の小テスト、宿題、授業態度などにより評価する。宿題及び小テストは採点后、授業中に返却し、解説する。

#### 教科書参考書

熊谷明泰『アリラン 改訂版』朝日出版社、2015 年、2400 円＋税。

#### 受講に当たっての留意事項

授業時間中に板書した内容は必ずノートを取り、不明な点があれば必ず質問をすること。配布されたプリント、返却された宿題、小テストは再び持参するように指定することがあるため、各自で保管/整理しておくこと。

#### 学習到達目標

基礎的な言語運用能力を、さらにステップアップさせることが目的である。日本語と対比させて記憶することで、習得した言語を自信をもって活用し、より実践的なコミュニケーションに役立ててほしい。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習